

國際材料試驗協會會務報告

(本文は西原利夫、近藤泰夫兩君の報告せられたものである)

本會議事報告として昨年報告以後の通信を纏めて茲に記載す。

1. 1932年8月協會本部より來信

本會が1930年 First Communications of the N.I.A.T.M. を出版せしために生ぜし負債 49 141 Fr. を償却するため寄附を願ひ度その割當額は下記の通りに有之各國委員に於て精々盡力相願度。

チューリッヒ案 (1931): 負債を 2 等分しその一を國に於て残半を會員に於て寄附することとし 1 國に付 1 300 フラン, 1 會員に付 11.30 フランとす, (日本は國としての割當なく當時の會員 44 名に對し 498 フラン)。

ウイーン案 (1932): 會員を有する國を A. B. C. D に分類し夫に 4. 3. 2. 1 單位の寄附を願ふとす (日本は佛, 獨, 英, 伊, 瑞, 米, 露と共に A に分類され, 割當額 3 280 フラン)。

次に本會出版の Proceedings of the Zürich Congress 1931 (2 冊 2 000 頁) を販賣方御配慮相願度價格は 80~100 フランにて適當に願度。右は印刷數 1 600 部を會員數の 80% 宛各國に購入方責任數と願度 (日本は 32 部を責任數とし直接又は丸善書店を経て今日迄に購入せる部數 36 部なり)。

2. 1932年8月協會本部より來信

貴國に於ける現在會員數 61 を算し候に就ては常設委員 1 名を御選出相願度, 尙右御選出相成候迄の期間貴國 (近藤泰夫) に於て右委員としての御配慮相願度。

3. 1932年8月チューリッヒ市ニグリ教授及ウイーン市グレング教授より來信

右兩教授の名を以て建築物及記念碑の風化及建築材料の保存に關する調査委員會設置に關し國際協力に興味を有せらるゝ在日本學會及個人名, 右に關し特別の研究を爲さるゝ在日本學會及個人名及右に關する研究にして未だ發表されざるものゝ御通報相願度。

4. 1932年8月スツットガルト市オットグラフ教授來信

コンクリートの水密度, 風化抵抗性及コンクリート及鐵筋コンクリートの内應力及容積變化に關する調査委員會に關し日本より委員を派遣相願度。

5. 1932年10月第八同常設委員會議決事項

- (1) 本會負債に關する件 各國代表委員をしてその寄附割當額募集に御盡力願度
- (2) Proceedings of the Zürich Congress (責任部數以上購入の場合は特別割引)を以て卸渡すべきこと
- (3) 1935年ロンドン總會に於ける討議事項

Group A. 金屬

- 1) 腐蝕, 2) 輕金屬, 3) 銲接, 4) 金屬組織學の進展, 5) 加工及磨滅中の狀態 (Behaviour)

Group B. 非金屬無機材料

- 1) コンクリート及鐵筋コンクリート, 2) 窯業製品の試験法, 3) 天然石及人造石の風化

Group C. 有機材料

- 1) 纖維 (人造絹絲), 2) 木材セルローズ, 3) ゴム, 4) 木材保存

Group D. 一般的問題

- 1) 試験機及測定裝置の進歩, 2) 實驗室及作業場に於ける構築材料,

3) 物理及化學を材料試験に應用する方法及概念, 4) 音響及熱傳導度

以上の事項は専門機關誌を通じ一般に周知せしむる様取計はれ度。

(4) 研究機關増設の件前回報告以外に任命せられたる研究機關は次の如し

Group D. 試験装置検定法ノ統一 Prof. Dr. R. Otzen.

(5) 雜

First Communication 殘部數 600 部あるに付本會宣傳のために頒布せられ度右は價格 10 フラン以上を以て、Zürich Congress Book と同時に處分せらるべし。

6. 1932 年 10 月ブラーゲ市バルタ博士より來信

有機材料に關する C 分科研究事項としてロンドン會議に提出項目を次の通り決定候。

- 1) 纖維, 人造絹絲——仕上前に於ける有害なる化學的影響
- 2) 木材セルローズ——重量の決定及纖維の測定
- 3) ゴム——分解の試験, 軟化試験
- 4) 木材保存

尙貴國に於て右項目に應じ委員を指名相成度。

7. 1932 年 10 月 ロンドン市 N. P. L. パー氏より來信

粘性に關する調査委員會に關し日本委員を指名相成度。

8. 1932 年 11 月パリ市メナジェー教授より來信

Resilience に關する調査委員會に關し貴國より加名さるべき委員を指名相成度。

9. 1933 年 6 月協會本部より來信

前總會論文集 Proceedings of the Zürich Congress の販賣方法に付瑞西に於て採りたる實例(略)に倣ひ各國委員に於て書店をして宣傳せしめらるゝ様配慮を乞ふ。

10. 1933 年 7 月協會本部より來信

會員會費徴收の上送金相頷度せり。

以 上

(上記論文集は丸善書店に於て販賣せり。)